

# 石破茂首相の「大義なき」「裏金疑惑隠し」の総選挙に審判を下し、 日本共産党の躍進で政治を変えよう！

石破茂首相は10月9日解散し、15日公示、27日投開票の総選挙に突入しました。新政権発足から8日後の解散は、戦後最短。野党はこぞつて「裏金疑惑隠し」と批判を強めています。

## 「米パニック」の元凶は、石破氏と自民党農政にある

今年も全国でも農村でも、「米パニック」を引き起こしました。新米の集荷競争が過熱化し、JA庄内たがわは、「10月2日現在JAへの米入庫数量が前年比62・7%の状況」、「取引業者への安定供給に支障をきたす」、「令和7年1月を目途に概算金の追加払いを検討」、「JAへ1俵でも多く出荷を」と呼びかけるチラシを、7日付で組合員に配布しました。

### 自給率を敵視

「米パニック」を引き



石破茂首相が農水大臣（2008年9月〜2009年7月）だった当時、東北農政局が、「米の作りすぎは、もったいない！」とポスターを作成、配布した。

## ふるさと賛歌

### 鈴木重雄（八色木）

法龍大権現の森 木彦左衛門の峯代さん（充洋さんの祖母）が発起し、有志十数人で、村内はもちろん、近村からも寄進を願ひ、瓦屋根に改造した。これを契機に、女性達が権現講を組織し、毎月13日を祈禱日としている。この社殿は、昭和53年（1978）、圃場整備の時に八色木バイパス造成により、皇大神社境内に遷宮した。権現森整地の際、白蛇が多数生息していたと云う。夜半には鳥の鳴き声が聞こえたのを覚えていたが、夜鷹ではないかと思っている。夜鷹は、カラス位の鳥で、灰褐色、カラスに似た鳴き声。昼は樹枝か地上に眠り、夕刻から活動し、飛びながら虫を捕食。「夜歩きする者」のたとえ。



法龍大権現の森（昭和52年）



現在の法龍大権現

当時の世情は、大飢饉や地震が続ぎ、社殿建立に8年間にわたって寄付を募っている。その範囲も、村内はもちろん、近郷近在から多額の寄進であった。特に、須走村、十文字村、野田村（野田目）、藤島下町、中町、常方村、大野村が目につく。境内は600m<sup>2</sup>（180坪）位で広くはないが、高さ1m位の土堤で囲まれ、ブナ、ダケカンバ、ハンノキ、ヤブツバキ、笹などが生えていて、庄内平野の昔を偲ぶ原生林であった。境内入り口に沼があり、年中水枯れすることなく、羽黒山鏡池とつながっていると言われていた。その池を覆うように、杉の大木が斜めに伸びていて、この木が八色木村の目印であった。

建立以来の茅葺屋根が損傷したので、昭和23年（1948）、瓦に葺き替えるため、鈴木伝五右衛門の豊女さん（玲子さんの祖母）、鈴

# 小中一貫校(義務教育学校)への疑問③

**疑問6** 10年後、20年後は、どうなるのでしょうか？

自立の三川町は、「産業団地4期造成」に着手し、住宅開発と企業誘致が進んでいます。藤島は学校が一つで通学は不便。若い世代が住みづらくなり、さらなる人口流出のリスクが高まりませんか？

で、先生は大変だと思われています。

しかし、生徒にとって、先生の指導のない時間に生徒同士が学び合うことで、単式よりも自己教育力が高まるという結果があります。

学年が違うので、「同じ」が前提にならず、一人ひとりの個性や特徴が認められやすくなる。違いや多様性が受け入れやすくなり、特別支援教育にも適している。同じ学年同志の比較があまりないため、自尊心の低下が起りにくいと云います。

複式学級を経験した先生は、生徒の学力が向上すると言います。教育先進国で有名なオランダのイエナプラン教育は、3つの異年齢のグループで、「複式学級」です。



(写真) 2019年4月、長野県佐久穂町に

日本で初めて『イエナプラン教育』を取り入れた小学校が設立。



## ウソつき政権はさらば

至極当然でまともな事を言っていたんだヨ。そんな言い方は、首相になる前も党の中では注目されていた部分があったと思うが。しかし何だ。首相になったらまるつきり前言と反対になったじゃないの。

誰から何を言われて変わったんだ。これで国民に信用回復をお願いするんだってか。

▲「解散総選挙の前に は予算委員会を一通りやって、この政権は何を考えているのか、国民の皆様に表示した段階で信を問いたい」と、彼は至極当然・当たり前前事を。それが、やっとな開いた代表質問と党首討論。終わったら解散と来たんだ。テレビで流れる首相の何を信すればいいんだ？これでは尚自民党政治が続くよう事はありえないだろうがサ。

▲これで「信を問いたい」って？ 何を言っただ。 「ルールを守る・日本を守る・国民を守る・地方をまもる」とも言っていたんだが、何を守ると言っても、自分が言った事を守れなくて何を言うか。

この首相は。 ショッパナからこれじゃどうしようもない人だな。それで、選挙をやるんだトサ。これは開き直りでは？

▲政治資金規正法で問題になった、たったの12人を非公認だつて。そんなもんじゃ国民が許さない。だって、裏金があるって人々を公認すれば、党からシコタマ公認料が出るんだろ？それも、企業などにたかって集めたお金で選挙かい。

▲解散は、裏金隠しに疑惑隠して逃げ切ろうというもの。許せるか。こんな政治を変える確かな道。我が党をよろしくネ。(石川)

# 東田川史跡物語 稲作改良碑⑨

活字化した稲作改良碑原文 青山 崇

稲作改良碑文 (活字体)

東至比月山西南踰于赤川北限于最上河坦坦平野村落基布是爲羽前東田川郡稻田凡萬四千餘町膏腴而民富然自古耕法一依水田不復他求蓋百餘年来有一二事乾田者收穫極多而費力亦過之不得水乾三年相換焉以故民知其利者希矣明治十七年縣令折田氏巡治下召父老論以馬耕省費之方當時馬耕之最盛無如福岡県於是每郡選力田者二人使行學之民不悅事遂廢焉二十四年郡長相良氏欲繼其緒謂近來國用年多而穀不加益今而非以馬耕之法頼乾田之利則百年之後將奈斯民何乃與諸村長及豪農謀請聘教師官乃請農商務省迎島野嘉作君爲稻作改良教師於是劃一郡爲三區區置實習田以教子弟躬推黎御馬泥面露背不辭寒暑至撰主裝置鋤草堆糞驅蟲之法偏教之民猶未信之相誹議口欲以南國之法規諸北地風土之不一不知類甚矣不遽放之全郡將蕪焉惡馨滿野君聞之笑曰非經十年則安知予言之信然乎不顧益勤蓋西南諸洲地狭人衆尺寸之土無不稼穡一歲再收猶憂期食以故其民焦心苦慮明栽培之理東北則不然地廣人寡緩耕徐耘足以支一歲以故其民固守旧習不好新法勢然也君生於福岡県筑紫郡大野村山田里奉職於勸業試驗場農功之事具究蘊奧夙以斯業之普及爲己任是其所以千里應聘諄諄誘液教而不倦者哉越三年子弟益進郡吏議員亦皆感其誠議爲郡業給其資用君乃請郡長創競黎會賞能者各有差拳卒業者爲助教師分教隣村而從教之村連歲有年三十一年及今郡長関原氏益獎其業於是乎一郡靡然嚮風耕黎之盛爲県下第一今滋三十六年島野氏任滿將還郡酬其勢贈以千金郡民相俱謀曰我郡改良稻作整理耕地抑雖出於縣令之意而頼二部長之力然非得島野君技術巧妙勤勉善教安可能至此哉此其功德雖百世不可滅焉也其宜建碑勒銘以換生祀永示後人而已乃來求予文予不文辭不可乃繫銘銘曰

天降嘉穀 斯土是植 有穰有凶 民之所作 耕違其宜 或失於食 惟島野君 精通稼穡 教我耕法 化我舊俗 我民從教 年穀豐熟 昔者一段 出二石粟 今也一段 穫過三斛 天邪父母 永寶福祿 我倉實兮 飽飯鼓腹 今將還兮 何以報德 茲鑽貞珉 不朽辭勒 明治三十六年七月 正三位伯爵酒井忠篤題隸 黒崎馨撰并書